

高原水車

高原水車友の会通信 (第 24 号)

新緑の候、野や山はやわらかい光に輝いています。早やお花見の季節も過ぎ、皆さま五月のさわやかな風を楽しまれていることでしょう。

水車の周りでは、青い麦の穂が元気に頭を出しています。麦秋もそこまで来ています。水車友の会が長年守ってきた水車と周辺の景色が、いつまでも続く事を願って

今年も「水車総会」のご案内をお送りいたします。



高原水車友の会
高松市六条町 672
高原水車場

【ご案内】

高原水車友の会第 13 回総会

高原水車友の会 第 13 回総会

日時 2026年5月23日(土) 午後1時~4時

会場 JA 香川県林支店二階広間

議題 活動報告 (活動日誌) 友の会会員から
会計報告 監査報告 今後の活動計画

講演

池森寛氏 (西日本工業大学名誉教授・福岡県久留米市)

「気になる「変わり種水車」あれこれ」

野瀬秀拓氏 (水車大工棟梁・福岡県久留米市)

「水車大工の技術を学び伝えて幾十年」

久保勇人氏「水車の建物の修繕と周辺整備について」

水車の会の交流—「神戸住吉川水車を未来につなぐ会」より

報告

香川大学教授・学生さんから報告

♪♪♪—閉会後水車場にて懇親会—♪♪♪



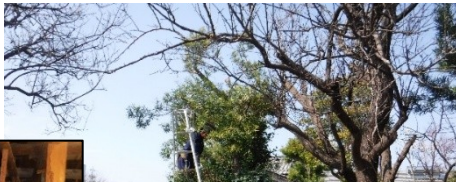
題字 森佐知子
カット平田真咲

- お知らせ 高原水車友の会第 13 回総会… p 1
- 水車場周辺整備作業 … p 2・3
- 神戸住吉川水車跡を見学 … p 4
- 香大生卒業おめでとう … p 4
- 東植田地区文化財グループの皆さんが見学
- 諏訪輝生著『讃岐うどんの継承と発展』紹介

水車場周辺整備作業

伸びた木の枝を伐採
水車講習会も実施

3月27日



会員のみなさま、年会費 1000 円を添付の振込用紙にてよろしくお願
いたします。高原水車友の会口座は郵便局 01600 - 4 - 132809 です。

神戸住吉川水車跡を見学 (交流)

かつて神戸六甲山系には、名高い灘の銘酒を生み出した酒米を精米していた水車が、急こう配の山の中で数多く回転していました。今は、水車は無く、御影石造りの水路や滝壺、何段もの石垣が雑木林の中にその姿をとどめています。ぜひ見学したいと思ひ、保存会の方に案内していただきました。

下見に行ってきました
2026.1.17



阪急電鉄御影駅近くに復元された「灘目の水車」です。



《住吉川水系水車の遺跡見学会》

2026年4月24日(金)

高原水車友の会12名が高速バスで高松を出発、淡路島を縦断して神戸へ渡る。

前日は雨、当日は天候に恵まれ、無事登山。神戸の「水車を未来へつなぐ会」の3人の方に案内され、楽しく見学させていただきました。

「住吉川の水車の歴史―江戸時代の元禄期にはすでに水車が稼働しており、綿花、菜種の油絞り、後に小麦の製粉に利用されていました。灘五郷での酒造りが盛んになると、水車の利用目的は酒米の精米が中心となり、住吉川流域ではますます水車の需要は高くなりました。灘の酒の高品質、大量生産を水車精米が支えていたのです。しかし大正期になると電気精米機の普及とともに徐々に需要が減少。昭和13年の阪神大水害で多くの水車小屋が流され、昭和54年に最後の水車小屋が焼失しました。」(パンフレットより) 山の中の勾配を利用した水車は全て上掛け水車でした。

現在、「兵庫県勤労者山岳連盟」の皆さんが2006年度から草刈りや植樹などの活動の中で水車遺構群も保存しています。さらに「水車を未来につなぐ会」が2024年から水車遺構群の保存活用に取り組み、この遺構は2025年2月に「神戸歴史遺産」に認定されました。



滝壺に入る



残っている石臼



白鶴酒造資料館



案内をいただいた「水車を未来へつなぐ会」の皆さん



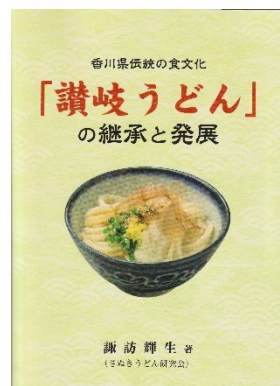
みて かんじて つたえて
香大生 卒業おめでとう!
今年は3人の就職・進学 おめでとう!



今年も素敵な記念アルバムをいただきました



変わる景色



活動日誌

2026年

- 2/11 雛祭り飾りつけ
- 2/28 東植田文化財グループが来訪見学
香大卒業生に感謝状
- 3/27 佐藤会員による水車講習会(水門等)
- 2/28 旧暦雛祭り お抹茶 ちらし寿司
- 4/24 神戸住吉川水車遺跡見学 12名
- 2/25 香大生新入生を迎える

TRIO jazzバンド演奏

高原水車友の会 連絡先

0877(33)4601 堀家



♪ 東植田文化財グループの皆さんが見学 2月28日

待望の書籍 発行!
香川県伝統の食文化『讃岐うどん』の継承と発展
さぬきうどん研究会
諏訪輝生著(美巧社)
全 160ページ